

第二十一回帝國議會
衆議院

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案委員會會議錄(速記)第二回

(完)

會議

明治三十八年二月二十日午後一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

三輪 信次郎君 神輓 知常君 江藤 新作君
海野 謙次郎君 宮崎 榮治君 小川 平吉君

出席政府委員左ノ如シ

文部省普通 澤柳政太郎君 文部書記官 福原鏖二郎君
學務局長 澤柳政太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案(政府提出)

○委員長神輓知常君 ソレデハ開會致シマス

○宮崎榮治君 過日政府委員ノ御説明ハ、極ク簡單デゴザイマシタガ、今席ニ於テハ、詳細ニ御提出ノ理由ヲ、先ヅ以テ拜聴致シテウゴザリマス

○政府委員澤柳政太郎君 本案ハ餘程錯雜致シテ居リマシテ、イロ／＼ノ既ニ出來テ居ル法律ヲ準用致シテ居リマスノデ、大變ニ御分リニクイカト思ヒマスルガ、要點ハ先日申シマシタ通ニ、朝鮮ニアル日本人ノタメニ、設置シタ學校ノ職員遺族ニ、退隱料扶助料ノ恩典ヲ與ヘタイト云フ一點ニ外ナラヌデゴザイマス、現在韓國ニ於テ、本邦人ノタメニ設置シタ學校ハ、多クハ此日本ノ小學校ニ類スル學校デアリマシテ、未ダ其他ノ學校ニハ及ンデ居リマセヌ、尤モ釜山ナドニ於テハ、尙日本ノ商業學校ニ類シタヤウナ學校ヲ設置シタイト云フヤウナ希望モゴザイマスルガ、ソレハマダ計畫ニ止リマシテ、今日存在シテ居ル學校ハ、小學校ニ外ナラヌデアリマスルガ、此法案ニ於キマシテハ、獨リ小學校バカリデナク、サウ云フヤウニ日本人ノタメニ設ケタ學校デアッタラバウヲ外務大臣及ヒ文部大臣ガ指定シヤウ、サウシテ其職員並ニ遺族ニハ恩典ヲ與ヘタイト云フ次第デゴザイマス、現在少シ調ガ古ウゴザイマスガ、調ベタトコロニ依リマスルト云フト、成立ッデ居ル學校ハ六校ニ過ギナイデゴザイマス、デ追々増加シテ參ルデアラウト思ヒマスルガ、第一條ノ二項ニ依リマスル制限ニ達スルノハ、成立ッタ學校總テ指定致スト致マシテモ、尙容易ノコトデアリナイデアラウカト思フテ居リマス、況ヤ總テ出來上ッタ學校ハ、ドレデモ是デモ指定スルト云フ譯デアナク、相當ナ設備ヲナシ、相當ナ教員ヲ置キ、教育ノ效果モ見ルベキモノガアッタラバ、是モ指定シテ往キタイト云フ考デゴザイマス、詰リ此職員ノ退隱料並ニ遺族扶助料ト云フモノハ、内地ニ於キマシテハ、市町村立ノ學校タケニ及ブコトデゴザリマスカラ、朝鮮ニ於キマシテモ、内地ノ市町村立ノ小學校ニ比ベテ大イナル甲乙ノナイモノヲ指定致シタイト云フ考デアアルデゴザイマス、現在成立ッデ居リマスルモノハ殆ド、是ハ内地ノ市町村立學校ミタヤウナモノデアリマシテ、唯一個人ノ企ニ依ッデ出來テ居ルト云フノデアナクシテ、多クハ居留民ガ互ニ釀金ヲ致シマシテ、サウシテソレニ依ッデ成立ッデ居ル學校デアリマスカラ、殆ド成立シタハ市町村立ノ學校ニ類シテ居リマスガ、尙内部ノ設備等ニ於テモ、市町村立ノ學校ニ劣ラヌモノデアリマシタナラバ、指定シテ參

リタイト考ヘルノデアリマス、ソレカライロ／＼ノ法律ヲ準用シテ居リマスルガ、是ハ詰リ此退隱料ハドウ云フ場合ニ於テ退隱料ヲ與フルカト云フ場合ニ、遺族扶助料ヲ與フルカ、又はヲ要求スル手續、或ハ期限ト云フヤウナコトヲ規定シテ居ル法律ハ、ソレヲ此處ヘ一々並ベマスルト、非常ニ條文ガ澤山ニナリマスカラ、既ニ出來テ居ルトコロノイロ／＼ノ法律ヲ準用シタ次第デアリマス、内地ニ於テモ學校、職員退隱料ト遺族扶助料ノ法律ト云フモノハ、時ノ必要ニ依ッデ出來タタメニイロ／＼ニナッデ居ルノデス、即チ二條ノ一番初メニアル「府縣立師範學校長俸級並ニ公立學校職員退隱料及遺族扶助料法云々」トアルノハ、是ハ公立學校ト申シテ居ルノハ、府縣立ノ師範學校ト中學校ヲ申スノデアリマシテ、其職員ニ對シテ退隱料ノコトヲ規定シタノデアリマス、ソレカラ第三條ノ一番初メ引用シテアル「市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料」ト云フノハ、是ハ市町村立小學校ノ退隱料ヲ指定シテアリマスルモノデ、ソレカラ三條ノ二行目ニアル「明治二十九年法律第十三號」ト云フノハ、即チ市町村立小學校、並ニ二條ニ掲ケタル公立師範學校ト中學校ト、此以外ノ學校ニモヤハリ退隱料ト遺族扶助料ノ恩典ヲ及ボスト云フ規定ヲ設ケタノガ、二十九年ノ法律第十三號ニナッデ居リマス、ソレカラ「明治二十三年法律第七十七號」ト云フノハ、是ハ臺灣ノ公學校デ、詰リ臺灣ノ小學校ノ恩典ノコトヲ極メタノデアリマス、斯ウ云フヤウニ内地ノ公立學校ノ職員ノ規定モ、大體申セバ四ツノ法律ニ依ッデ規定サレテ居ルヤウニナリマスルタメニ、此所ヘ引用スル場合ニ於テモ、各四ツノ關係ヲ及ボシテ來ルト云フ次第デアリマスルガ、是ハ實質ニ於テ唯今申シタ通、恩給ナリ遺族扶助料ノ權利ハ、ドウ云フ場合ニ生ズルカト云フヤウナコトヲ規定シタニ過ギナイノデアリマス、大體ハ唯今申シタ通りデアリマス、尙御質問等ガアレバ御答ヲ致マス

○宮崎榮治君 大體ノ御説明ハ唯今拜承致シマシタガ、第一條ニ在韓國ニ此法律ガ限ラレデアリマスルガ、彼ノ清國內ノ專管居留地トカ、又布哇トカ云フヤウナ場所ニハ、此法律ヲ實施シテ往クト云フヤウナ必要ハナイト云フ御見込デセウカ、又此指定學校ノ數ハ、二十校ヲ超ユルコトヲ得ズト云フハ、二十校ト云フノハドウ云フトコロデ制限ヲ定メマシタカ尙此文部大臣ノ指定學校ノ何カ規定ト云フモノヲ御取調ニナッタモノガアレバ、詳細ナル御規定ヲ伺ヒタイ

○政府委員澤柳政太郎君 ナゼ韓國以外ノ彼ノ專管居留地若クハ居留民ノ立ッデ居ル學校ニ、廣ク適用ノ出來ルヤウニ規定セヌカト云フ第一ノ御尋ネデアリマシタガ、一躰此法律ヲ制定致シタイト云フ考ヲ起シタノハ、實ヲ申スト餘程數年前カラ朝鮮ニ於ケルトコロノ居留民カラシテ、屢スウ云フ規定ヲ設ケテ貫ヒタイト云フ希望ガ、一再ナラズ其筋ヲ經テ文部省ナドヘ申出テ參リマシタノデスガ、今日迄之ヲ制定シヤウト云フ時期ニ達セズシテ、漸ク茲ニ提出スルヤウニナッタノデ、元ト／＼サウ云フ希望ガ原因トナッテ、此法律ヲ制定致シタイト云フ次第デ、モウ少シ漠然ト申シタナラバ、必要ニ應ジテ斯ウ云フ規定ヲ設ケタイト云フ趣意デゴザイマス、ソレデ理窟ノ上カラ申シマスレバ、成程他

ノ居留民ノ澤山集テ居ル所ニ學校ガ出來タナラバ、推シ及ボシテモ宜カラウト思ヒマスガ、ソレハ其時ノ必要ニ應ジテ、更ニ此規定ヲ擴メテ往テ遲シナイデハナイカ、現ニ韓國ノ居留民カラハ數度熱心ニ其希望ヲ申出マシタケレドモ、他カラハ別段ニサウ云フ希望モ起テ居ラヌト云フコトデアリマスルシ、學校モ從前時局前ニハ浦鹽斯德ニアリマシタガ、ソレモ今日ハモウ無イト云フヤウナ次第ナリ、又天津ニ小學校ガ一ツ出來テ居リマスガ、其邊ノ希望ヲ申出モセズ、從テ今迄ドウ云フ狀況ニナッテ居ルカ、ソレヲ調査スルコトモナク、ソレヲ云フヤウナ次第デアリマス、ソレカラ布哇ニハ、先頃丁度好イ便宜ガアリマシテ、文部省ノ吏員ガ出テ調査致シマシタガ、是ハ餘程特別ナ學校デアリマシテ、布哇ノ移民ノ子弟ハ、亞米利加ノ法律ノ指定ニ從テ、必ズ亞米利加ノ小學校ヘ強迫ノ出席シナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、ソレ彼處ノ子弟ハ亞米利加流ノ小學校ノ教育ト云フ完全ナモノヲ受ケテ居リマスノデ、併ナガラ唯ソレデケデアッテハ、日本人トシテ日本ノ文字ヲ讀メナイ、或ハ日本ノ地理ヤ歴史モ分ラヌト云フコトデハ、不都合アルト云フノデ、既ニ向フノ學校ヘ這入ッテ居リマスル子弟ヲ、或ハ學校カラ歸ッテ來タ後ニ集メテ、幾ラカ此日本の教育ヲ施スト云フコトヲ致シテ居リマスル、デ之等モ或ハ他日ニナリマシテハ退隱料若クハ遺族扶助料ノ恩典ヲ及ボス必要ガアルカモ知レマセヌガ、餘程特殊ノ學校デアリマスルシ、且又其希望モ未ダ申出デナイト云フヤウナ次第デアリマスルカ、先ツ差當リハ、最モ急要ヲ感ジテ居ルコロノ、韓國ニ於ケル學校ニ限ッテ宜カラウト云フ趣意デ、斯ウ云フコトニ致シマシタ、ソレカラ二十校ト學校ノ數ヲ限ッテハ是ハエライ極マタ理窟モアリマセヌガ、詰リ相當ノ制限ヲ設ケテ置カナケレバ、チヨットシタ學校ヲ設ケテ、吾モ吾モト云フヤウニ指定シテ貰ヒタイト云フコトニナッテモ、如何デアラウカ、此制限ニ達スルニハ、今後數年ヲ越ヘルコトデアラウシ、旁々今日ニ於テハ、相當ノ制限ヲ致シテ置イタ方が宜カラウト云フ趣意デアリマス、第三ノ指定ヲスルニハ、ドウ云フヤウナ條件デアアルコト云フコトデアリマスガ、ソレハ極マタモ

ノハゴザイマセヌ、デツマリ此法ガ發布サレルコトニナリマスレバ、直チニ施行ノ規定ヲ出サナケレバナラヌノデゴザイマスガ、前ニ申シマシタ通大舩小學校ニ類似シタ學校デアアルナラバ、内地ノ小學校ニ略々似寄ッタ學校、商業學校デアッタナラバ内地ニ於ケル商業學校ノ規定ニ略々準據シタヤウナ學校ノモノヲ條件ト致シタイ考デアリマス

○宮崎榮治君 此法律ヲ施行サレマス曉ニハ、費用ハドノ位要シマス
○政府委員澤柳政太郎君 ソレハ至ッテ僅カデアリマシテ、初年度ハ凡ソ三百圓位モ有ッタナラバ宜クハナカラウト云フ見込デアリマス、退隱料ヤ扶助料ノ推算ハ困難デアッデ、多ク退隱スルト云フコトニナレバ、一時ニ退隱料ヲ要シマスガ、内地ノ率ヲ標準トシテ推算シタコトデハ、差當リ明年度ハ三百圓位有ッタナラバ宜カラウト、今日ノ人員ガ餘リ増加セヌモノト見レバ、今後十年間位ニ漸ク二千圓以內モアッタナラバ宜カラウト、無論學校ノ數ハ餘程増加シテ參リマセウガ、唯今申シタヤウナ次第デアリマスカラ、縱シ是ガ十倍ニナッタトコロガ、十年後ニ二萬圓足ラズデ往ケルト云フヤウナ次第デアアルノデ、金ハ餘程僅カノモノデアラウト思ヒマス

○宮崎榮治君 尙伺ヒマスガ、文部大臣及外務大臣ニ於テ御指定ニナッタモノデナケレバ、此法律ハ適用サレマセヌカラ、校數ヲ限ラズトモ、兩大臣ガ、御指定ノ無イモノハ適

用サレヌト云フコトデアレバ、御差支ナイデアアリマセンカ
○政府委員澤柳政太郎君 實際ヲ言ヘバサウ云フヤウニモ考ヘラレマスガ、ヤハリ制限ノアルモノデアアルト云フコトヲ、明カニ致シテ置イタ方が、便宜デアアルマイカト云フニ過ギナイノデアリマス

○宮崎榮治君 職員ノ資格ハ命令ヲ以テ定メ、指定ハ命令ヲ以テ定メルト云フコトデアリマセヌガ、人民ノ側カラ云ヘバ、ドウ云フ學校ガ御指定ニナルカハ明カニ御命令ヲ發セラル、コトヲ望ムト思ヒマス、ガ一方ハ命令ヲ以テ定メ、一方ハ命令ヲ以テ定メヌト云フト、是ハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員澤柳政太郎君 指定ヲ申請シテ參リマシタモノニ對シテ、詮議シテ、指定ヲ與ヘルト云フヤウニ致シタイ考デ、實際此法律ガ出タナラバ、相當ノ教育上ノ成績ヲ擧ゲテ居ルト信ズル學校ハ、直チニ申請ヲシテ來ルト考ヘマスノデ、別段是々ノ條件ニ合ッタモノハ指定スルト云フ標準ヲ定メルニモ及ブマイト云フコトデ、此方カラ内規ナリ其他ノ規定ニ依ッテ斯ウ云フ資格ノ有ルモノデナケレバ、指定ヲセヌト云フコトヲ定メル積デアリマスガ、指定ノ規定ヲ別段命令ヲ以テ定メルト云フニハ及ブマイ、一ツノ場合ニ於テ指定スルト云フ考デアリマス

○小川平吉君 一年三百圓位ト云フノハ、幾ツノ校數ト見デノ金高ニ當リマスカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカデ是ハ外務省ノ政府委員デナケレバイカヌカ知レマセヌガ、吾ノ見込デハ、小學校ノ數ハ非常ニ殖ヘルト思ヒマスガ、政府ノ方デハ近キ將來ニ於テ、甚シク現狀ニ變更ヲ來タスマイト云フ御考デアリマスガ、吾ノ見込デハ一二十校ニ止マラズ、澤山殖エルト思ヒテ居リマス、序ニモウ一ツ伺ヒマスガ、第四條ニ年齡ハ六十歲ニ至ラズシテ罷メタ者ハ、退隱料ヲ受ケル資格ヲ失フト云フコトガアリマスガ、是ハ學校ニ奉職シテ居ル年限ノ多少ニ依ッテ退隱料ヲ與レルトカ、與レルトカ、ヲ極メル方が當然ノヤウニ思フ、老年ノ人が朝鮮ニ往ッテ學校ノ職員ヲ勤メル、其ノ勤メタ年限ハ少イガ、退隱料ヲ貰ヘル、若イ人ハ長イ間勤メテモ、年齡ガ六十歲ニナラヌタメニ途中デ罷メレバ、退隱料ヲ貰ヘヌト云フ結果ニナッテ來ル、是ハ年齡ニヨラズ、在職ノ年限ニ依ルガ當然ト思ヒマスガ、何カ別段ノ事ガアッデ六十歲以上ト云フコトヲ御極ニナッテデアリマスカ

○政府委員澤柳政太郎君 退隱料並ニ扶助料ガ三十八年度ニ於テ三百圓位宜カラウト考ヘマシタノハ、是ハ現在ノ教員ヲ標準トシテ算出致シタノデアリマス、現在成立ッテ居ル六校ノ職員ノ總數ハ、正教員準教員其他雇員等ヲ合セテ、四十七名有ルノデアリマス、唯今考ヘテ居リマスコトデハ、雇員ナドニハ此恩典ヲ與フルニ及バヌト考ヘマスガ、標準トシテ内地ノ割合算出スレバ、三十八年度デ三百圓以內中間ニ合フデアラウト云フ考デアリマス、小學校ハ餘程澤山殖エルデアラウト思フガ、其見込ハドウデアラウト云フコトデアリマスガ、ソレハ今度ノヤウナ時局ノ結果トシテ、俄カニ殖エルト云フコトハ、或ハ隨分有ラウト思ヒマスガ、今マデノ例ニ依ッテ見マスト、俄カニ二十校ニ達スルト云フヤウナコトハ無イデアラウ、京城ナリ仁川、釜山、元山等ノ學校ハ、餘程以前カラ出來テ居ルノデアリマシテ、サウ俄ニ從來ノ經歷ヲ基礎トシテ考ヘマスルト、非常ニ俄ニ殖ヘルコトハナイデアラウト云フ積リデス、併ナガラ段々交通ノ便ナドモ開ケ、又韓國トノ關係モ一變シタ結果トシテハ、隨分殖エルト思ヒマスカラ、ソレラニ付イテノ文

部省トシテノ考モアリマスガ、唯今ノコロコデハ、在來ノ狀況ニ依ツテ見テモ、サウ俄ニ二十校ノ制限ニ忽チ達スルコト云フコトハナイデアアラウト云フ見込デス、ソレカラ年齡ニ付イデナク、在職年數ニ付イテ致シタナラバ、宜クハナイカト云フ御尋ネガアリマシタガ、ソレハ内地ニ於テ退隱料ヲ與ヘル、其規定ニ據リマシタノデ、無論在職年數ハ十五年以上經タナケレバ通例ノ場合ニ於テハ、退隱料ヲヤラヌコトニナツテ居リマス、又十五年ノ在職年數アリマシテモ、自己ノ便宜デ罷メタモノニハヤラヌ規則ニナツテ居リマス、ソレガ六十歳以上デ、アレバ自己ノ便宜デモ、隨分退隱料ヲヤラヌコトニナツテ居リマス、自己ノ便宜デナケレバ、假令四十歳ニシテ退職シテモ、在職年數十五年ニ充テテ居レバ、ソレハヤルコトニナツテ居リマス、詰リ内地ニ於ケル規定ニ準シタ譯デアリマス

○小川平吉君 幸ニ外務省ノ政府委員ガ御出デニナリマシタカラ、唯今此學校數ノ殖エル點ニ關スル御見込ハ伺ヒタイト思ヒマス、極ク簡單ニ繰返ヘスト云フコト、元ヨリ朝鮮ノ形勢ト云フモノハ、日露事件ノ終局ノ如何ニ依ツテ、韓國ノ形勢ニ付イテハ、非常變化ヲ來タスノデアリマセウガ、吾々ノ最モ希望シタイトコロノ、甘クナイトコロニ此日露事件ガ落着シタコロデモ、朝鮮ニ於ケル日本人ノ數ノ殖エルコトハ、明カデ、又日露事件ガ幸ニ吾々ノ最モ希望スル如ク、非常ニ宜ク往ケバソレハ又非常ノ場合デアツテ、斯様ナ在外指定學校ノ法律ヲ議スルコロノ話デナイノデアアルガ、極ク々々不満足ニ落着テ告グル場合デモ、二十校バカリノ小學校デ甘シテ居ルコトハナカラウト思フ、又ドコマデモ殖ヤシテ往カナケレバナラヌデアリマスガ、時局ノ落着如何ニ依テ違ヒマセウガ、如何ニ時局ガ落着スルト雖モ、未ダモツ殖エナケレバナラヌト思フ、此點ニ關スル外務省ニ於テノ御考ヲ聞キタイノデアリマス

○政府委員石井菊次郎君 唯今ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ始メノ此外務省ノ方ノ希望カラ云フト、獨リ韓國ノミナラズ、清國若クハ布哇ト云フヤウナ外ノ國ニ設立シテアル本邦小學校ノタメニモ、此特典ヲ及ボサウト云フ考デアリマシタガ、サリナガラ大體ノ財政ノ都合モゴザイマシテ、之ヲ韓國ニ限ツタ次第デアリマシテ、而シテ韓國トシテハ、目下ノトコロ凡ソ近キ將來ニ於テハ、先ヅ二十校以內デ澤山デアルト云フ考デゴザイマス

○江藤新作君 此二十校ト云フ最極點ノ數マデ學校ガ設立サレタ場合ニ、ソレニ對スル退隱料扶助料ハドノ位ニナリマスガ

○政府委員澤柳政太郎君 ソレハ學校ノ規模ニ依リマスノデ、現在デ釜山ノ學校職員ハ十九人デスガ、鎮南浦ハ一人ヨリナイト云フコトデ學校ニモ大小ガアリマスノデ、學校ノ數デケテハ何分何十分ノ精算ハ立チマセウガ、各學校ノ大小ヲ通シテ、現在總テノ職員ガ四十七人、ソレヲハツノ學校ニ配置シデアリマスガ、其割合デ彼ノ殘ルトコロノ六校ヲ悉ク指定スルモノト見テ、殘ル十四校ガ出來ルモノトスレバ、現在ノ凡ソ二倍位デスカラ、三十八年度ニ於テハ、二百圓以內デス、是ハ在職年數ガ増加スルニ從ツテ、段段退隱料及遺族扶助料モ増加シナケレバナリマセウガ、十年目ニナリマシタコロコデ、丁度二千圓位デアリマススカラ、ソレヲ三倍トシテ六千圓ヲ超サナイト云フ次第デアリマス、併シ各學校ガ同シ學校デモ、一ツノ學校トシテ大キクナルト云フコトガアリマスレバ、又其金額ハ餘計ニ増加スル譯デアリマス

○江藤新作君 此指定學校ノ數ヲ大體ニ於テ茲ニ極メデアリマスガ、指定スル當局

者ノ標準ト云フモノヲ、此法律ニ明カニ示シテ置クト云フコトハ出來ヌデアリマスガ、若シ之ヲ示サナイトキハ、將來學校ガ續キト出來ル場合ニ、種々ノ情實ノタメニ、情弊ノタメニ、指定ヲ受ケルダケノ資格アルモノガ、寧ロ指定サレズニ、却ツテ他ノ學校ガ指定學校トナルト云フヤウナ弊害ガ生ズル憂ハナイヤウナデアアラウカ、將來サウ云フ憂ガアルト假定スレバ、寧ロ今日ヨリ其標準ヲ示シテ置イタ方が宜カラウト思ヒマスガ、標準ヲ示スニ左程困難デハナカラウト思ヒマスガ、此點ニ付イテ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員澤柳政太郎君 先刻申上ゲマシタ通、小學校程度ノ學校ナレバ、内地ノ小學校ノ規定ニ略々適合シテ居ルヤウナモノデアツタナラバ、指定シヤウ、其他ノ實業學校デアレバヤハリ内地ニ於ケル實業學校ノ規定ニ適合シテ居ルモノデアツタナラバ、指定ヲ致シタイト云フ考デアリマス、標準ヲ舉ゲルト云フコトハ、ソレハ餘程困難ナコトデアラウカト思ヒマスノデ、小學校ナラバ必ズ内地ノ小學校通ニヤレト云フコトモ出來ズ、餘程困難デハアルマイカト云フヤウナ考デ居ルデアリマス、ソレカラ標準ヲ取リマスルトコロガ、詰リ内地ノ公立ノ學校デアルカラ弊ヲ生ズルト云フヤウナ憂ハナイ積デアリマス

○宮崎榮治君 先刻外務省ノ政府委員ノ御答辯ハ、小川君ノ質問ニ對シテ十分ナル御答辯ヲ得ナカッタヤウニ存スルノデスガ、尙小川君ノ聞カント欲スルトコロ、私共ニ於テモ聞キタイノデスカラ、ドウカ詳細ニ御答辯ヲ願ヒタイ、尙私ノ伺ツテ置キタイノハ、外務省ノ方デハ、獨リ韓國ノミナラズ、其他ノ外國ノ方ニモ適應シタイト云フ御希望デアツタケレドモ、今日ノ御提出案ガ斯ノ如ク相成デ居ルノハ、主ナル點ハ何ニ關係シテ他ノ外國ニ之ヲ適用サレナイ譯デアリマセウカ、先刻文部當局ノ御答辯ニ依レバ、他ノ外國ヨリハ何等是マデ希望ノ申出デガナイガ、獨リ朝鮮ノ方ハ、再三再四申出デ參ッタカラ、先以テ韓國ニノミ之ヲ行フト云フダケノ御答辯デアリマシタガ、其邊ノ詳細ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○政府委員石井菊次郎君 獨リ此法律ハ韓國ノミニ止マラズ、韓國以外ノ外國ニ設ケタル日本ノ學校ニモ之ヲ適用シタイト申シマスノハ、外務省ノ方ノ希望デゴザイマスガ、此法律案ガ獨リ韓國ニ限ラレテ居ルヤウニナリマシタノハ、一般財政ノ關係上カラ、之ヲ韓國ニ限ツタ次第デアリマス、ソレカラ先刻ノ御質問ニ對スル答辯ガ少シク疎漏デアツタト云フコトデスガ、此二十ノモノ、外ニ、之ヲ増スノ必要ハナイカト云フ御問デアリマシテ、今日ハハツト、或ハ其他ニ種々ナ學校トモ言ヘヌ位ノモノモアルトシテ、ソレガハツカ七ツ位デ、固ヨリ時局ノ後トデハ著シク發達スルコトハ見込シテ居リマスケレドモ、先ヅ二十ノ學校ト言ヘバ、暫時ノ間ハ是デ十分デアルト認メタノデアリマス

○小川平吉君 是ハ法律ヲ調ベレバ分ルコト、思ヒマスガ、朝鮮ノ學校デ、本統ノ日本ノ教員ノ免狀ヲ有テ居ラヌ者ガ、方々ノ學校ニ教員シテ居ル者ガアルヤウデスガ、アレハ雇ト云フコトニナツテ居ルカ、何ト云フコトニナツテ居ルカ知リマセウケレドモ、ア、云フ者ハ此法律ニ依ツテ保護ハ受ケラレヌ譯デアリマスガ

○政府委員澤柳政太郎君 ソレハ、ヤツデアレナイコトハナイノデスカレドモ、詰リ此二條ノ二項ニナリマスガ、指定學校ノ職員ノ資格ト云フ者ガ命令ヲ以テ定マルト云フコトニナツテ居リマスカラ、是モヤハリ内地ノ規定ニ準シテ、全ク無資格ノ雇ト云フ人ニハ及ボサナイト考ヘテ居ルノデアリマス、詰リ此規定ハ韓國ノ學校ヘ免許狀ヲ持テ居ル者

ニ轉任サセルニ非常ナ效力ガアリマスノデ、内地ニ居レバ退隱料ナリ遺族扶助料ナドノ恩典ニ與カルノデスガ、韓國ニ往ケバ、其恩典ヲ失ウト云フコトデ、資格アル者ガ同フニ往クノ嫌ウノデス、ソレデ此法律ニ依ッテ退隱料ナリ遺族扶助料ナリ其支出スル額ハ僅カデアリマスガ、韓國ニ於テ良教員ヲ得ルト云フ上ニハ、最モ効力アルモノニナリマス、向フテ勤メテ内地ニ勤メテモ、其在勤シタ年數ハ通算シテ、サウシテ十五年ニ達スレバ、退隱料ヲ受ケルコトガ出來ルノデスカラ、所謂優等ノ資格アル教員ヲ韓國ニ赴任サセルニ、大ニ效力ガアルノデス

○宮崎榮治君 チョット伺ヒマスガ、外務省ノ方デ御希望ナスッタコロヲ、尙私共ガ差向キ希望スル通ニ此法律ヲ修正スルストスレバ、在韓國トアルノヲ在外國ト直スダケデ、他ノ外國ニモ適用スルト云フコトニナレバ、何カ此法律中ニ差支ヘル點ガアリマセウカ
○政府委員石井菊次郎君 此最初ハ在外國ト云フ案ヲ立テタノデスガ、費用ノタメニ之ヲ他ニ及ボサレテハ困ルト云フノデ、韓國タケニ限りマシテ、外ノ字ヲ韓ノ字ニ代ヘタノデアリマス

○宮崎榮治君 尙伺ヒマスガ費用ト云フノハ、先刻文部省ノ當局ノ御答辯ニハ左程膨張シタル此日本ノ財政上ニ大關係及ボサウニモ思ハレマセヌヤウデスガ、外務省ガ其御希望ヲ御止メニナッタト言ヘバ、凡ソドノ位ノ費用ト云フコトニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員石井菊次郎君 是ハ數字デハ覺ヘテ居リマセヌガ、詰リ主義ノ問題デアリマス、財政ノ都合デ出來ルダラ一局部ニ加ヘルト云フ主義カラ、最モ焦眉ノ急ナル韓國ニ限ッテ次第デアリマス

○江藤新作君 之ヲ在外國トスルノハ至極宜カラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ關係ハナイノデアリマセウカ、朝鮮ニハ隨分日本人ガ這入り込ンデ居ルノハ、諸外國ニ比較スルト多イノデ、在朝鮮人ノ日本ノ子弟ヲ教育スルノハ、他ノ國ニ往ッテ居ル子弟ヲ教育スルヨリ餘程必要ガアルトスルト、朝鮮ニ居ル教員ハ其報酬ヲ受ケル額モ少ナシ、他ノ國ニ往ッテ居ル日本人ヨリ程度ガ低カラウ、人口ノ多イ割合ニ低カラウト思フノデス、朝鮮外ニ往ッテ居ル日本人ハ、サウ云フ保護ガナクモ、隨分相當ノ俸給ト云フモノガ、得ラル、又或ル場合ニハ法律外ニ種々ノ恩典ヲ其居留民ガ施シテヤルト云フヤウナ餘裕モアリ、教員ヲ優待スル途モ朝鮮ニ居ル日本人ヨリ餘地ガアラウト推測スルノデスガ、若シ果シテ其通りデアルトスレバ、別段或ハ布哇ニ居ル日本人、或ハ支那ノ諸方ニ居ル日本人、或ハ亞米利加ニモ日本人ガ大分往ッテ居ル、サウ云フ日本人ニ向ッテ、隨分國家ガ保護ヲ加ヘヤルト云フヤウナ必要モナカラウカト云フ推測モ出マスガ、其邊ハドウ云フモノデスカ

○政府委員石井菊次郎君 唯今ノ御尋フモウ一度……

○江藤新作君 私ノ聞ク要點ハ朝鮮ニ居ル日本人ト、或ハ亞米利加其他ノ國ニ往ッテ居ル日本人ト比較シタナラバ、朝鮮ニ居ル日本人ノ富ノ程度ハ餘程低イ、其割合ニ人口ハ多イ、從ッテ子弟モ多イサウシテ朝鮮ニ於ケル日本風ノ教育ヲ大ニ施行スル必要ガアル、之ハ對朝鮮策ノ上カラ申シテモ、餘程必要ガアルト云フコトハ勿論デアリマス、然ルニ其朝鮮ニ對スル方針ヲ以テ、例ヘバ亞米利加ニ居ル日本人ニマヤルト云フ、サ

ウ云フ必要ガアルヤ否ヤ、亞米利加ニ居ル日本人ト朝鮮ニ居ル日本人ト比較シマスレバ、生活ノ程度モ總テノ點ニ於テ違ッテ居ルデアラウ、在留民其人ハ國家ノ保護ヲ待タヌデモ、相當ノ教員ヲ雇フコトガ出來ルデアラウ、若シ教員ガ相當ノ保護タケデ甘シナケレバ、退隱料モ吳レルコトデアラウ、扶助料モ吳レルコトデアラウ、斯ウ云フ關係ハナイカト云フコトヲ御尋ネ致シタデアリマス

○政府委員石井菊次郎君 此韓國以外ノ外國ト申シマシテモ、現ニ重ナル所布哇デゴザイマシテ、布哇ニ居リマスル日本人ノ富ノ程度カラ申シマスレバ、少數ノ取除ケラ以テハ朝鮮ニ居ルコロロ日本人ト餘リ違フコトハナイコト、思ヒマス、寧ロ比較ヲ致シマスレバ布哇ニ居ル日本人ノ方ガ却テ貧シイ有様ニ在ルト思ヒマス、ソレカラ布哇以外ノ米國本土ノ方ニ居ル日本人ノ子弟ト云フモノハ、是ハ米國ノ學校ト云フヤウナモノニ通フモノガゴザイマシテ、今此方ニ向ッテハ現ニ此法律ニ依ルモノヲ擴ゲテ、適用スルノ必要ハ今日ノコロロデハ認メテ居リマセヌ

○江藤新作君 假ニ之ヲ在韓國ヲ在外國ト直シタ場合ニハ、桑港ニ日本人ガ小學校ヲ拵ヘルト云フヤウナコトガアツタ時分ニ、ソレニモ適用シナケレバナラヌコト、思ヒマス、例ヘバ倫敦ニモ日本人ガ學校ヲ拵ヘ、或ハ伯林ニモ學校ヲ拵ヘルト云フヤウナ場合ニハ、今ノコロロデハアルカナイカ知リマセヌケレドモ、假ニアリトスレバ、之ヲ適用シナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレ程ノ必要ガアルヤ否ヤ、寧ロ朝鮮トカ支那トカ云フノハ、特別ニ日本ガ之ニ對シテ保障ヲ加ヘル必要ハアルケレドモ、總テノ國デモ、此法律ヲ適用スルダケノ必要ガアルヤ否ヤト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○政府委員石井菊次郎君 私ハ今ノ在韓國ト云フノヲ在外國ト云フ元ノ案デハゴザイマセヌガ、今ヨリ前ノ話ヲ打明ケテ申上ゲマシテ、却テソレガタメニ輿論ヲ——餘波ヲ起シタノハ案外ト思フコトデアリマスガ、兎ニ角ニ是ハ外國デアッタコロガ、之ヲ指定スルモノハ外務大臣ト文部大臣ト協議ノ上デ指定ヲ致スデアリマスカラ、必要ノナイトコロハ、固ヨリ之ヲ指定シマセヌ、詰リ指定學校ノ中ニ數ヘマセヌカラ、極ク必要ノモノダケハ之ヲ指定スル、其必要ニ至ッテ、此法律トハ違フコトハアリマセヌ、是デハ唯之ヲ如何ニ必要ガアツデモ海外ノ——韓國外ノ外國ニ用井ルコトガ出來ナイト云フ違ヒデアリマス併ナガラ今日ノコロロデ、極ク焦眉ノ急ヲ認メテ居ルノハ韓國デアリマス

○宮崎榮治君 皆サンノ御質疑モ濟ミマシタナラバ、私ハ意見ヲ申上ゲマス

○委員長神輿知常君 ソレデハ逐條ニ移ッテ、逐條デ小口カラヤッテ參ッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、先ヅ第一條カラ御意見ヲ御述ベナサイ

○宮崎榮治君 私ハ此第一條ヲ修正シタイト思ヒマス、實ハ外務當局ノ御出席ノ前、段々質問ヲ致シテ承リマシタコロト、尙外務當局ニ質問シテ答辯ノアツタコロロデ大ニ感ズルトコロガアリマシタ、故ニ、第一條ノ「在韓國」トアルコロヲ「在外國」ト云フコトニ私ハ修正ヲシタイト思ヒマス、第二項ノ「學校數ヲ超エルコトヲ得ス」ト云フトコロハ削除ヲ致シマシテ、其跡ヘ「在外指定學校ノ指定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ箇條ヲ加ヘタイ先刻來段々御質問申上ゲマシタ末ニ、此校數ヲ制限スル必要ハアルマイト私ハ考ヘマス、又指定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ定ムルト云フ同一ノ條件ガ備ッテ學校ハ、甲乙ノ差別ナク、同一ノ取扱ニ出ルト云フコトガ、最モ私共ハ希

望シテ居リマス、尤モ賢明ナル政府ニ於キマシテハ、縱令別段ノ規定ハ命令ヲ以テ御交
付ナクテモ、公平ノ取扱ガアルト云フコトハ、深ク信シマス。總テノ内地ニ於ケ
ル規定ノ如キモ、斯ヤウナ場合ハヤハリ公ケニ豫メ示ス方ノ順序ニナツテ居リマス。此
法律モ其方針ヲ執リ戴キタイト思ヒマス。在外指定學校ノ數ハ二十校ヲ超
ルコトヲ得ズト云フコトニナツテ居リマス。在外指定學校ノ指定ニ關スルコトハ、命令ヲ
以テ之ヲ定ムトシ、其條モ所ガ不穩當デアリマス。ドウカ委員長ニ於テ宜シク御修
正ヲ願ヒタイト云フ精神ヲ以テ此ニツノ修正ヲ提出致シマス。

○小川平吉君 私モ此第一條「在韓國」ヲ「在外國」ト修正スルコトニ御同意申上
ゲマス、ソレカラ二項ヲ削除スルコトノ御修正ニモ同意ヲ致シマス、第二項ヲ削除ト云フ
コトニ同意ヲ致シタノデアルカラ、單ニ削除スルノデアリマス、是ハ此法律案ヲ讀シテマ
シテモ、標題ガ「在外指定學校」トアリ其餘モ皆在外トアル、是ハ途中テ直シタト見
エテ「在韓國」トアルガ、是ハ外國一般ニ適用スルノガ當リ前ト思ヒマス、斯ヤウニ金ガ
減ルト云フコトナレバ、是ハ實ニ賀スベキコトデアルガ、我國民ガ益々發展スルノデアルカ
ラ、指定學校ノ數ガ殖エテ且ツ金ガ要ルナレバ、幾百萬圓デモ出サウト思フ、其位日本
人ガ發達シマスレバ、費用ノ點位ハ、更ニ御懸念ナク、伯林マデモ倫敦マデモ往ケレバ
實ニ結構デゴザイマス、殊ニ必要ヲ感ズルナレバ、布哇等モ必要ト思フノミナラズ、現ニ
日露事件ガ落着クシマスレバ、滿洲ニモ適用シナケレバナラヌコト、思ヒマス、滿洲ト云
フモノハ如何ナル風ニナルカト云フノハ、問題デゴザイマスガ、大體彼所ニ向テ日本人ガ
膨脹スル、少ナクモ旅順大連灣ハ非常ニ膨脹ヲ致シマス、戰後直チニサウ云フコトニナ
タ時、又此法律ヲ變ヘナケレバナラヌ、小學校ヲ拵エルト云フコトニ運轉ヲ及ボスコトガ
出來ヌト云フコトニナリマス、布哇ハサテ置イテ滿洲ニ於テ必要ヲ感ズル、縱令此事
件ノ終局ハ今ヨリ豫期スルコトハ出來マセヌガ、如何ニ落着キテモ吾々日本人ノ蕃
殖スルコトニ豫定ヲ抱イテ差支ナイト思フ、然ルニ「在韓國」トシテハ實ニ遺憾千萬
デアデ、況ンヤ韓國以外ニ直チニ適用スルコト云フノデハナイ、當局者ニ任セテ其範
圍ヲ廣クスルノデアルカラ、是ハ政府ニ於テモ元ノ通ニシテ、吾々ノ修正ニ御同意ヲ
願ヒタイト思ヒマス、第二三此「二十校ヲ超ユルコトヲ得ズ」ト云フノハ、實ハ此案ヲ見
テ心細ク感シマス、澤柳君ハ六箇所ニ學校ガアルト云フコトヲ言フケレドモ、現ニ今日
小學校ヲ造リカケテ居ル所ガアル、又造ラナケレバナラヌ所ガアリマス、先刻モ申シタヤウ
ニ如何ニ朝鮮ニ對スル處分ト云フモノガ、國民ノ不満足シタ遣リ方デモ、日本人ハ殖エ
ナケレバナラヌ、又殖ヤサナケレバナラヌ、今日デモ小學校ヲ造ラントシテ居ル處ガアル、又
政府委員ノ調ベタヨリ以外ニ於テモ、現ニ不完全ナガラ拵ヘテ居ル、サウシテ教師ヲ雇
ウテ教授シテ居リマス、假ニ此朝鮮ノ事ハ外交ノ結果トシテ、ドウナルカ分ラヌトシテモ、
假ニ此朝鮮ノ十三道ノ市府ニ向テ、一ツノ造ル、其他開港場トカ開市場ニ一ツツ
造ルトスト、先ヅ北ノ方カラ勘定シテハ、城津、元山、釜山、馬山、木浦、仁川、
鎮南浦、平壤、開城、龍巖浦ナドト云フヤウニ、十三モ十四モアリマス、ドコマデモ之
ニ向テ膨脹サシテ行クト云フコトハ、損ノナイ事デ、又十三道ノ市府ナドニ向テモ、開
ク所ニ據リマスレバ、政府ハ相當ノ經營ヲスル考デアラシク、或所ノ市府ハ成程
日本人ノ膨脹ニ不適當デアリマセウケレドモ、或處ノ都府ハ現ニ小學校設備ヲヤッテ居

ル所ガアル、例ヘバ慶尙北道ノ大邱トカ云フ所デハヤッテ居リマス、デス様ナ心細イヤウ
ナ案ヲ政府ガ出シタト云フコトハ、私ハ寧ロ異様ニ感シタノデアリマス、況ン今日コ、デ
二十校ハ補助スルコト云フ譯デハナイ、此制限サヘ取ツテ置ケバ、當局者ノ調査ニ依ツテ
十校ヲ殘シテ置クコトモ出來ル、或ハ十五校デモ、或ハ三十校四十校——多々益々辨
ズルカラ、吾々ノ希望ノ通ニナツタラ幾ラデモ殖シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、何ノタメニ斯
様ニ窮屈ニスルノデアルカ、私ハ政府委員ノ御答辯デケデハ、此制限ヲ設ケル必要ヲ見出
スノニ苦ムデアリマス、普通ノ場合ハ、吾々ハ成ベク政府ノ自由行動ノ範圍ハ制限シタ
イケレドモ、斯様ナ事ハ政府ハ責任ヲ以テ指定スルヤウニシテ、法律デ極メテナイカラ斷
ハリニクイト云フヤウナコトハ、個人間ノ關係ノコトデ、法律ニナイカラ金ヲ貸サヌト云フヤ
ウナコトデス、ソレデハ甚ダ困ル、政府ハソレガタメニ政府デアルカラ、責任ヲ以テ斷然斷
ハルガ宜イデアリマス、デ此補助スルコトハドコマデモ補助シテ往クヤウニシテ、政府ニ其
範圍ヲ任セテ置キタイト思ヒマス、故ニドウカ滿場一致ヲ以テ削除スルコトニ願ヒタイ、
且政府委員柳澤政太郎君 唯今修正說ガ出テ御贊成モゴザイマシタガ、ソレニ關聯
シテ申上ケテ置キタイト思ヒマスノハ、此第七條ニアリマス。是ハ内地ト餘程異
テ居リマシテ、詰リ韓國ニ於ケル學校ノ退隱料、竝ニ遺族扶助料ニ關シテハ、特ニ國ガ
餘計負擔シテ居リマス、小學校ノ方ハ内地デハ此町村ト府縣ト、ソレカラ町村ノ負擔
スル金額ノ半分ヲ國庫カラ補助スルコト云フコトニナツテ居リマス、勿論町村ト府縣デ此
小學校ノ教員ノ退隱料、竝ニ遺族扶助料ト云フコトニナリマシテ、餘程厚ク國家ガ之ヲ見テ居
韓國ニ限リテ悉ク國庫ガ負擔ヲスルコト云フコトニナリマシテ、餘程厚ク國家ガ之ヲ見テ居
ル次第デゴザイマス、ソレカラ小學校以外ノ他ノ公立學校ニナリマス、是ハ此基金ハ
國庫ニ置キマス。即チ其退隱料ヲ將來受ケル資格ノアル者ガ、一部分ヲ國庫ニ
納付スルシ、又其學校ヲ立テ、居ル府縣ナリ町村ナリカラシテ一部分ヲ國庫ニ納付スル
ト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、小學校以外ノ退隱料遺族扶助料ハ、丁度個人ト
市町村ト國トニ寄ツテ、相待チマシテ支出シテ居ルコト云フコトニナツテ居リマスガ、此
規定ニ依リ、此所デモヤハリ國庫ガ全然負擔スルコト云フヤウナ特別ノ關係ニナツテ居リマ
スノデ、或ハ内地同様ノ規定ヲ將來外國ニ於ケル學校ニ付イテモ適用スルヤウニデモナ
リマシタラバ、或ハ「韓國」ト云フノモ廣ク「外國」ニスル、或ハ校數ノ如キモ制限スルニ及バ
ヌト云フコトモアリマセウガ、サウ云フ特別ノ關係ガアリ、旁々斯ウ云フ制限ヲシタ次第
デゴザイマス。其事ヲチヨット附加ヘテ置キマス。

○三輪信次郎君 私モ此「在韓」ト云フ「韓」ノ字ヲ、ヤハリ「外」ニシヤウト云フ小川君
ノ說ヲ贊成致シマス、ソレカラ第二項ハ全然削除スル、是ハ小川君ニ贊成スル、其理由
ハ私が申ス以上ノコトヲ澤山小川君カラ申サレマシタカラ、私ハ述ベマセヌ、又費用ハ政
府デモ御心配ハ御尤モデアリマス。是ハ丁度子供ガ殖ヘテソレデケ費用ガ掛ルト
云フコト、同ジデ、當然國庫ガソレデケモノヲ負擔スルノハ仔細ナイコト、思ヒマス、ソ
レデケノ理由ヲ附加ヘテ、小川君ノ此二項ヲ削除スルコト、ソレカラ「韓」ノ字ヲ「外」
ノ字ニスルコト云フコトニ贊成致シマス。

○江藤新作君 私モ此「在韓」ヲ「在外」ニ直スコトニ贊成致シマスガ、第二項ヲ削除
ル

云フコトハ、是ハ宮崎君カラ修正ガ出テ居リマスガ、其修正ノ通ニシタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、宮崎君ノハ「在外指定學校ノ規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノデスナ

○宮崎榮治君 削ツタ跡ニ入レタイト思ヒマシタガ、其入レル場所ハ都合ノ好イ處ヘ入レテモ宜シイデス、第二項ハ削除シテ更ニ「在外指定學校ノ指定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト言ッタノデスガ、若シ其文句モ不穩當ナ所ガアレバ、相當ニ直シテモ宜シイ

○委員長神鞭知常君 第一條ノ修正ト、ソレカラ第一條第二項ノ削除、ソレカラ更ニ入レル指定ノ規定ヲ別ニ命令ヲ以テ定メルト云フコト此三ツニ見テ往ケレバ……

○宮崎榮治君 宜シウゴザイマス

○海野謙次郎君 私モ一ツ發議シマスレバ、此「在韓國」ヲ「在外國」ト直スノデ、私ハ「第一條在外國」ト云フノニ同意致シマス

(此間速記ヲ中止ス)

○委員長神鞭知常君 サウスルト第一條ノ在外國ト云フ修正ハ、全員一致デ修正スルコトニナツテ居リマス、其通ニ決シマス——ソレカラ第一條ノ第二項ノ削除モ、満場一致デ此通決定シマス、ソレカラ指定ノ規定ハ、別ニ命令ヲ以テ定メルト云フ、宮崎君ノ說ニ賛成ノ方ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 少數

○委員長神鞭知常君 少數デゴザイマス、第二條ニ移リマス、第二條ハ異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長神鞭知常君 然ラバ原案ノ通ニ決シマス——第三條

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長神鞭知常君 第三條モ異議ナイモノトシテ可決致シマス——第四條

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長神鞭知常君 然ラバ第四條モ原案通——第五條

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長神鞭知常君 第五條モ原案通決シマス——第六條

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長神鞭知常君 第六條モ異議ガアリマセヌカラ原案通可決致シマス——第七條

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長神鞭知常君 第七條モ原案ノ通可決シマス——附則

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長神鞭知常君 附則モ異議ガアリマセヌカラ、可決致シマス、ソレデハ總テ唯今ノ通デ、報告致スコトニ致シマス、是デ散會致シマス

三時五分散會